

2019年11月18日
株式会社富士通総研

「埼玉県 AI・IoT プラットフォーム」が11月20日に公開

～AI ソフトウェアが試せるポータルサイトの企画・構築により、
県内企業の生産性向上に向けた AI・IoT 活用を支援～

株式会社富士通総研（注1）（以下、「富士通総研」）は、埼玉県から「AI・IoT プラットフォーム整備等業務」（注2）を受託しており、企画・構築を支援した「埼玉県 AI・IoT プラットフォーム」が2019年11月20日に公開されます。

「埼玉県 AI・IoT プラットフォーム」は、「埼玉県 AI ポータルサイト」と「埼玉県 IoT/LPWA ポータルサイト」の2つで構成されており、埼玉県内企業の生産性向上を図るため、AI（注3）とIoT（注4）の活用促進を行うサイトです。

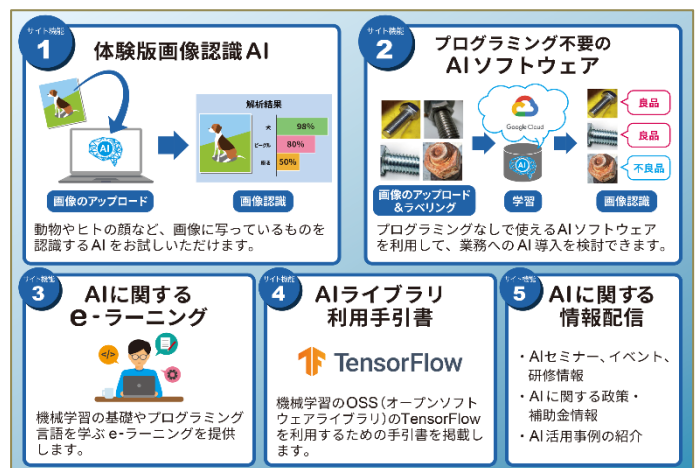
「埼玉県 AI ポータルサイト」では、埼玉県 AI コンソーシアム（注5）会員を対象に、体験版画像認識 AI や、プログラミングなしで使える AI ソフトウェアなどの機能・コンテンツを提供します。これらを通じて、県内企業の AI への関心・理解を高め、さらに AI を業務に活用できることを実感していただき、AI の活用促進を図ります。

「埼玉県 IoT/LPWA ポータルサイト」では、埼玉県が実施した、LPWA（注6）（Low Power Wide Area）の活用による地域課題の解決に向けた実証実験の成果を紹介し、県内企業や市町村における LPWA の活用促進を図ります。

今後、富士通総研は、埼玉県 AI コンソーシアム会員向けに「埼玉県 AI・IoT プラットフォーム」のデモンストレーション等を行い、県内企業の AI・IoT への関心・理解の向上、業務への AI・IoT の導入促進を支援していきます。



「埼玉県 AI・IoT プラットフォーム」TOP ページ
※画像はイメージです



「埼玉県 AI ポータルサイト」の機能紹介

▼取組の背景

埼玉県では、埼玉県内企業の AI 技術等の導入・活用を促進し、生産性の向上や新たなビジネスの創出を図るため、2019 年 8 月に、企業、大学・研究機関、商工団体、金融機関、自治体等で構成する「埼玉県 AI コンソーシアム」を設立しました。「埼玉県 AI/IoT プラットフォーム」は、「埼玉県 AI コンソーシアム」における、埼玉県内企業への AI の普及啓発、人材育成、実装・技術支援の情報共有を行うためのサイトとして公開します。

富士通総研では、埼玉県から「AI・IoT プラットフォーム整備等業務」を受託し、プラットフォームの企画、構築、活用促進を支援しています。富士通総研は、様々な業種・分野での AI 活用コンサルティングや、AI ソフトウェアの操作研修、ポータルサイト企画・構築の実績・知見を生かし、AI 導入の段階に応じたサービス・情報提供しています。これにより、埼玉県内企業の AI に対する関心・理解向上への寄与を図っています。

■「埼玉県 AI ポータルサイト」が提供する機能・コンテンツ

□体験版画像認識 AI

動物やヒトの顔など、画像に映っているものを認識する画像認識 AI を体験できます。

□プログラミング不要の AI ソフトウェア

プログラミングなしで使える AI ソフトウェアを利用して、業務への AI 導入を検討することができます。

□AI に関する e-ラーニング

機械学習の基礎やプログラミング言語を学ぶ e-ラーニングを提供します。

□AI ライブラリ利用手引書

機械学習によく用いられるソースコードとして無償で提供されている TensorFlow（注 7）を利用するための手引書を掲載します。

□AI に関する情報配信

AI に関する以下の情報を配信します。

- ・ AI セミナー、イベント、研修情報
- ・ AI に関する政策、補助金情報
- ・ AI 活用事例の紹介

■「埼玉県 IoT/LPWA ポータルサイト」が提供するコンテンツ

□県内で実施した LPWA の実証の取組紹介

埼玉県が実施した、地域課題の解決に資する「LPWA」の通信網を活用した実証実験の事例を紹介します。

□実証実験で導入した機器から取得したサンプルデータ

実証実験で導入した機器から取得されたデータの一部を公開します。

■今後の展開

今後、富士通総研は、埼玉県 AI コンソーシアム会員向けに「埼玉県 AI・IoT プラットフォーム」のデモンストレーション（11月20日に開催される第2回埼玉県 AI コンソーシアム総会において実施）等を行い、埼玉県内企業の AI・IoT への関心・理解の向上、業務への AI・IoT の導入促進を支援していきます。

■関連コンテンツ

・埼玉県 AI・IoT プラットフォーム ※2019年11月20日公開

<https://www.ai-lpwa.saitama.jp/>

・埼玉県 AI コンソーシアム

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0812/aiconsortium.html>

・埼玉県プレスリリース

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0001/news/page/2019/1118-03.html>

▼注釈

(注1) 株式会社富士通総研

株式会社富士通総研は、お客様の真の経営革新を実現するために、それぞれの企業の様々なフィールドにある課題に対し、解決策を提案する「コンサルティング」、最新の技法と ICT を駆使してコンサルティング・サービスの強化を図る「研究開発」、社会・経済・産業の動向を鳥瞰し、未来に向けた政策提言を行う「経済研究」の3分野を備え、これらのシナジーを最大限に発揮してお客様の課題解決に取り組む、我が国でも数少ないシンクタンク／コンサルティング会社です。

(注2) AI・IoT プラットフォーム整備等業務

埼玉県内企業等が簡単に AI 等の先進技術を活用できる環境（プラットフォーム）を整備することで、県内企業における業務での AI 等の普及拡大を図り、地域企業の生産性向上等につなげることを目的とした事業です。富士通総研は、プラットフォームの企画、活用促進を担当しています。

(注3) AI

「Artificial Intelligence」（人工知能）の頭文字をとった用語。インプットしたデータを学習することで、識別、予測や判断などの知的作業をコンピューターで自動化する技術です。

(注4) IoT

「Internet of Things（モノのインターネット）」の頭文字を取った用語。パソコンやスマートフォンだけではなく、家電、自動車、ビル・設備、工具等、様々な機器にセンサーや通信機が搭載され、インターネットに繋がることで、機器からデータを集めたり、遠隔地の機器を操作したりすることができます。IoT で収集されるデータは膨大なものとなるため、その解析には AI の活用が有効です。

(注5) 埼玉県 AI コンソーシアム

埼玉県では、県内企業の AI 技術等の導入・活用を促進し、生産性の向上や新たなビジネスの創出を図

るため、企業、大学・研究機関、商工団体、金融機関、自治体等で構成する「埼玉県 AI コンソーシアム」を設立し、産学官の連携体制を構築しました。

(注6) LPWA

「Low Power, Wide Area」の頭文字を取った用語。低コスト・低消費電力で、長距離・長時間の通信を実現させる通信技術で、遠隔地との通信や長時間の通信を要する IoT を実現するために必要な通信技術の一つです。

(注7) TensorFlow (テンソルフロー/テンサーフロー)

Google が開発し、オープンソースで公開する、機械学習に用いるためのソフトウェアライブラリです。

▼プレスリリース PDF ダウンロード版

「埼玉県 AI・IoT プラットフォーム」が11月20日に公開

<https://www.fujitsu.com/downloads/JP/group/fri/pressrelease/20191118.pdf>

▼お問い合わせ先

お客様総合窓口 サービス全般に関するお問い合わせ

<https://www.fujitsu.com/jp/group/fri/contact/>